

Momo's Journey In Japan Vol. 4 (Jp)



(邦題「モモ旅 Vol. 4」)

Written by Momo

Translated by Tanya

Cover design by Tanya

Maps copyright © 2021 Increment P Corporation

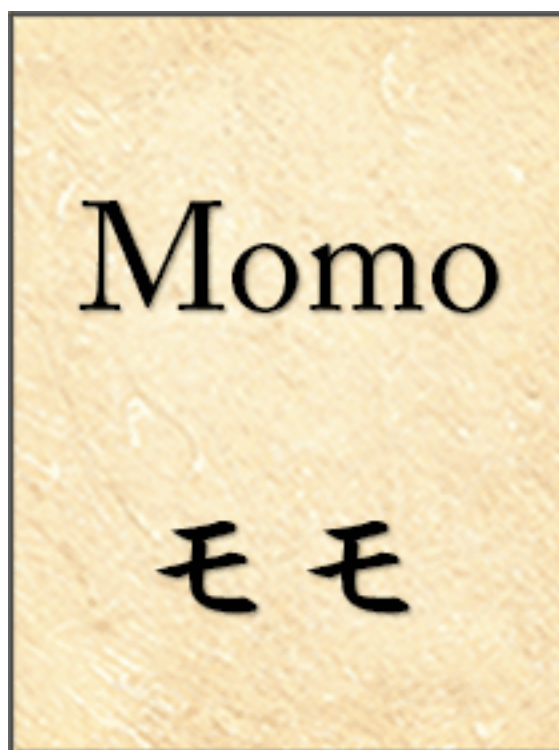
Copyright © 2021 Momo / The BBB: Breakthrough Bandwagon Books

All rights reserved.



The BBB ウェブサイト (日本語版)

<http://thebbb.net/jp/>



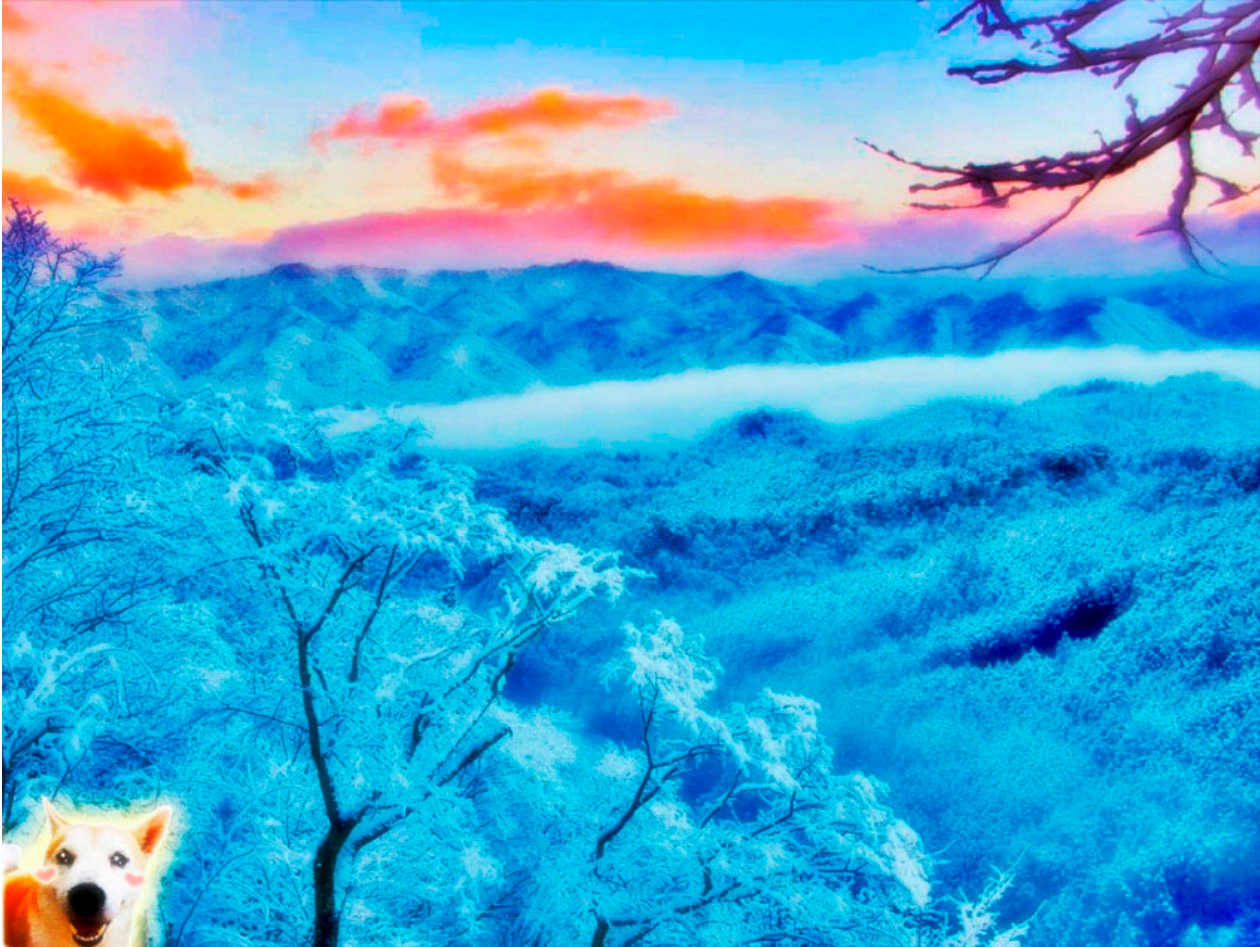
モモ著者ページ

<http://thebbb.net/jp/cast/momo.html>

---



## 紀伊山地の霊場と参詣道



沖縄を後にしたモモは、ふたたび奈良県に戻ってきました。

ホームシックで東京の自宅に帰りたい気持ちはありましたが、飛行機の往復チケットを買ってしまっていたのです。

前回、奈良を訪れた時には、秋の樹々が赤や黄に色づいていました。

今、モモは雪景色に迎えられて、思わずワンと声が出ました。

「わあ〜、とっても綺麗！」

目的地となる世界遺産は、「紀伊山地の霊場と参詣道」。

和歌山県、三重県、奈良県の3県にまたがっている信仰の聖地だそうです。

そして、冬の寒さは厳しく、登山は難しくなる、とのこと。

季節は暦の「大寒」（だいかん）を過ぎて、奈良の地は一面の銀世界。

「寒さに耐えられるかどうか、わからないけれど……やっぱり行ってみたい！」

モモはしっかり厚着して準備することにしました。

---



**MOMO is HERE**



## 吉野山（紀伊山地の霊場と参詣道）

【Address】〒639-3115

奈良県吉野郡吉野町吉野山2430 吉野山観光協会

【TEL】0746-32-1007 (代表) / 月・水・金10:00~16:00

【FAX】0746-32-1217

【Access】近鉄特急「吉野」駅下車





ロープウェイで「吉野山」駅に到着したモモは、目の前に広がる吉野山の雪景色の美しさに驚きました。

陽射しが雪に反射して、さらに白さが増しているようです。赤い鳥居も目立っています。

まず最初に向かった先は、観光案内所。

モモは、世界遺産を巡る道順を相談しようと思いました。

さっそくカウンターの受付女性が親切に、「ケーブルバスが便利よ」と教えてくれました。

吉野大峰ケーブルバスに乗車して約30分、モモは山頂付近にある「吉野分水（みくまり）神社」に到着しました。

お話し好きなバスの運転手さんが、吉野分水神社には水の神様が祀られていることを教えてくれました。

すると、バス内で座席が隣り合った女性観光客が、モモのほうへ歩いてきました。

「ワンちゃんもここで参りするの？ 良かったら、記念写真を撮りましょうよ」

モモは笑顔で頷きました。

「はい、チーズ！」

ポーズを取るためにじっとしていると、ちょっと失敗。歯がガタガタ鳴りました。

---





**MOMO is  
HERE** → ○

## 吉野分水神社 (紀伊山地の霊場と参詣道)

【Address】〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山1612

【TEL】 0746-32-3012

4月：8:00～17:00 / 5月～3月：8:00～16:00

【Access】 ロースウェイ「吉野山」駅下車、徒歩約1時間

【拝観料】 無料







吉野分水神社を後にしたモモは、吉野の山中を凍えながら歩いて、「金峯（きんぷ）神社」にやってきました。

降り積もった雪の中に、古い建物が厳（おごそ）かに立っています。

モモは、その建物の縁側に立ち止まると、すっかり冷えた足裏を感じながら、風景をじっと見つめました。

絵画のような景色が、瞳の中に映ります。

すると、いくつかの足音が近づいてくるのに気づきました。

「やあ、こんにちは、柴ちゃん！ 吉野へ、ようこそ！」

それは修行僧さんたちの一団で、白い息を吐きながら、元気に挨拶してくれました。

修行僧さんたちは、寒さをものともせず、慣れた様子で颯爽（さっそう）と歩いています。

しかも、身を包む白い服が雪景色の中に溶け込んでいて、動きがなければ人だと分かりません。

「カッコイイ！ 忍者みたい！」

---



**MOMO is HERE**





## 金峯神社（紀伊山地の霊場と参詣道）

【Address】〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山1651

【TEL】080-2560-1741

【交通】ロープウェイ「吉野山」駅下車、  
バスに乗り換え「奥千本口」下車、徒歩約15分

【拝観料】無料（義経隠れ塔：300円／要事前予約）





今日は、吉野山にある金峯山寺（きんぷせんじ）にやってきました。

雪に覆われたお寺は、陽射しを受けて、白く輝いています。

青空との美しいコントラストに、モモは感動しました。

「まるで宝石箱みたい！ キラキラしてる！」

モモを幸せな気持ちにしてくれているこの冬景色は、春には薄紅色の桜で埋め尽くされるそうです。

モモは、春にもまた訪れてみたいと思いました。

---



**MOMO is HERE**



## 金峯山寺（紀伊山地の霊場と参詣道）

【Address】〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山2498

【TEL】 0746-32-8372 / 8:30~16:30

【FAX】 0746-32-4563

【Access】 ロースウェイ「山上」駅下車、徒歩約10分

【拝観料】 大人・大学生：500円 / 中学・高校生：400円 / 小学生：300円  
（最終入館時間16:00）







しんしんと雪が降り続く中、あたりは少しずつ暗くなってきています。

迷子になりそうでしたが、なんとかモモは吉野山の吉水（よしみず）神社に到着しました。

本殿でお祈りするためにモモが肉球を合わせていると、美しい巫女さんが彼女のほうへ静かに近づいてきました。

「あら、かわいいワンちゃん。ここには、あなたを浄（きよ）めてくれる聖域があるの。連れて行ってあげましょう」

モモは興味が湧いてきて、彼女の後に付いて行くことにしました。

北闕門（ほっけつもん）という歴史を思わせる門の前に進むと、巫女さんは呪文（じゅもん）を唱えながら、彼女の指を空中で水平と垂直に交互に動かし始めました。

「臨（りん）！ 兵（びょう）！ 闘（とう）！ 者（しゃ）！ 皆（かい）！ 陣（じん）！ 烈（れつ）！ 在（ざい）！ 前（ぜん）！」

門のほうへ頭を下げていると、モモは、何か不思議な力が伝わってくるように、感じられました。





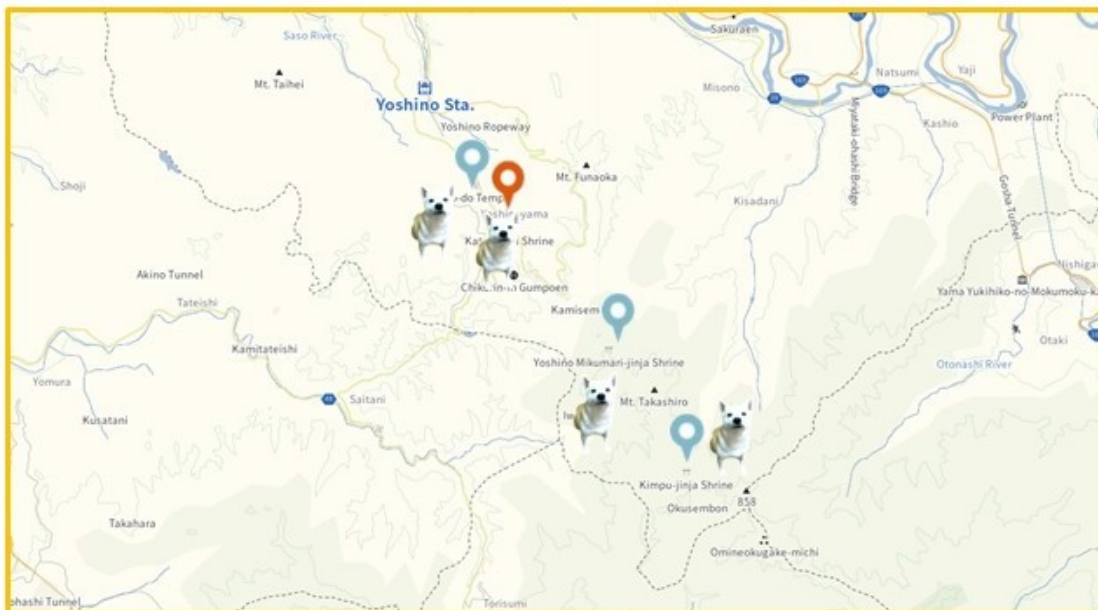
## 吉水神社（紀伊山地の霊場と参詣道）

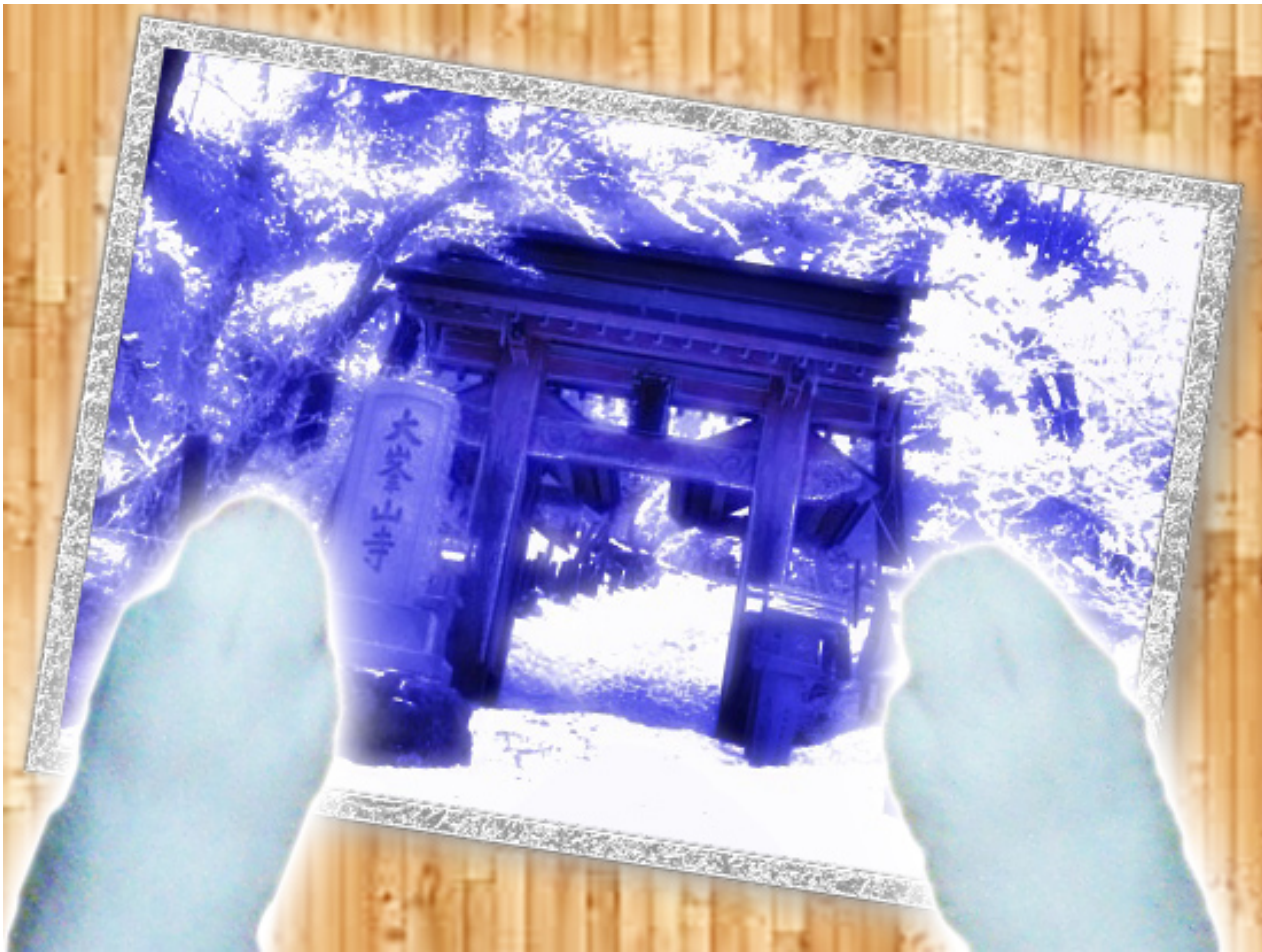
【Address】〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山579

【TEL】 0746-32-3024 / 9:00~17:00

【Access】 ロースウェイ「吉野山」駅下車、徒歩約15分

【拝観料】 大人・大学生：400円 / 中学・高校生：300円 / 小学生：200円





吉水神社で、モモは、思いがけず、神道の聖なる儀式を体験することができました。

モモを浄化してくれた巫女さんが尋ねました。

「モモちゃん、次はどこに行くの？」

モモは次の目的地を思い出して、答えました。

「大峰山（おおみねさん）です。お姉さん、どう行けばいいでしょうか？」

巫女さんはマユを寄せて表情を曇らせ、残念そうに言いました。

「残念だけど、あのお山は、女性は入ることができないの……」

モモはショックを受け、がっかりしました。

巫女さんは同情して、モモに、その山の写真を見せてくれました。





**MOMO is HERE**

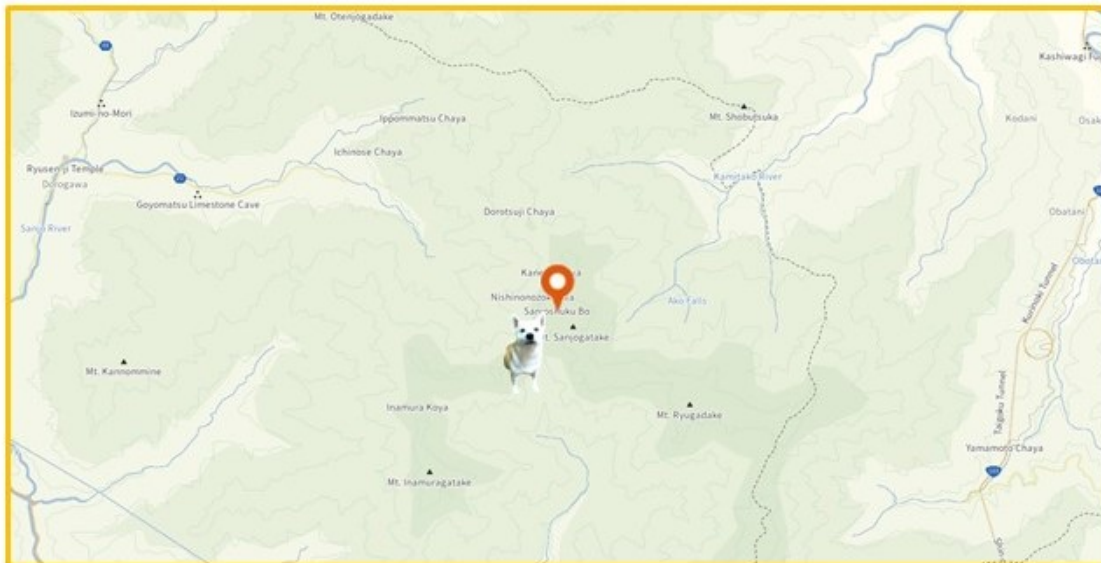


## 大峯山寺（紀伊山地の霊場と参詣道）

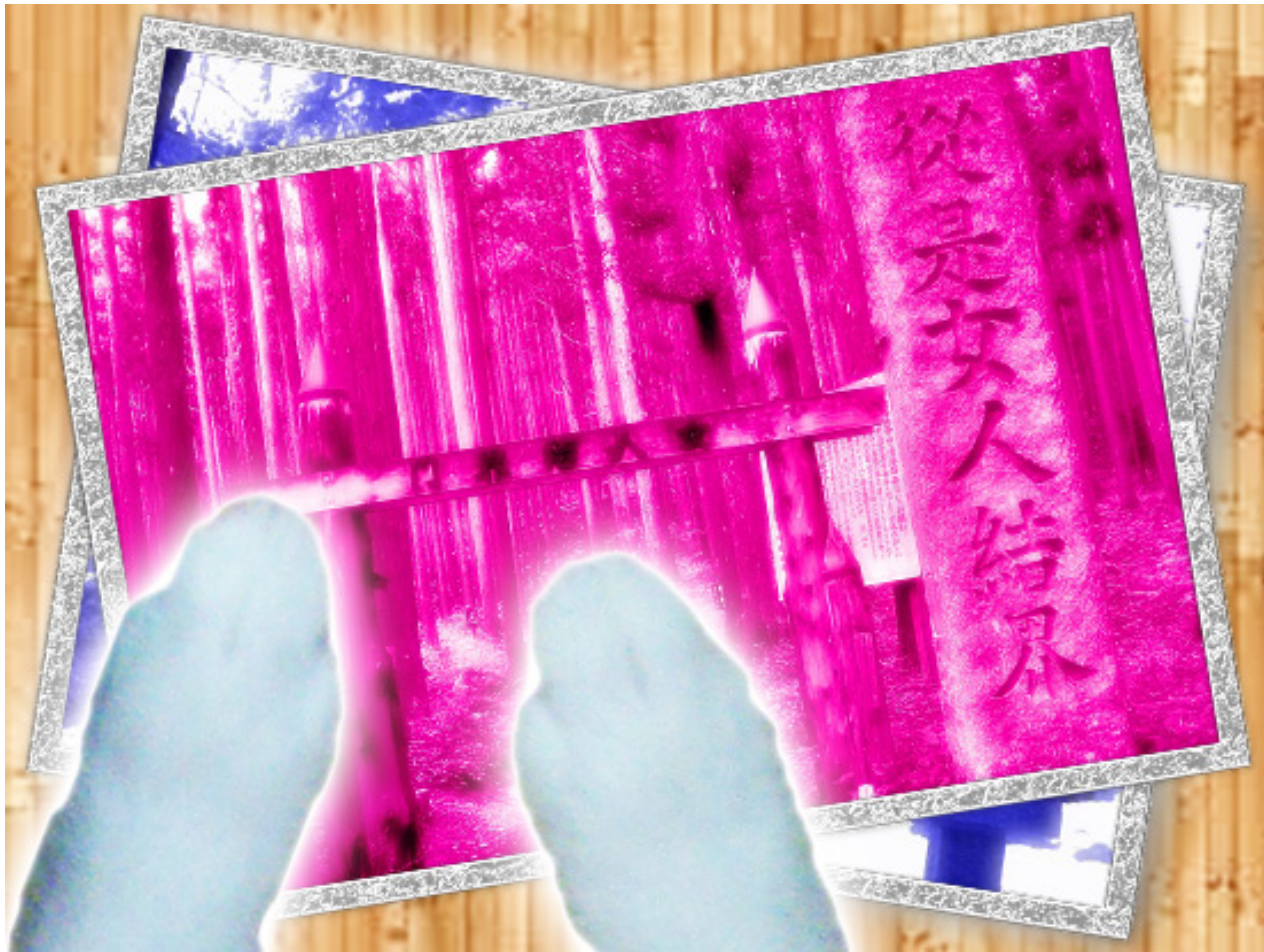
【Address】〒638-0431 奈良県吉野郡天川村洞川703

【TEL】天川村総合案内所：0747-63-0999 / 8:15～17:00

【Access】近鉄「下市口」駅から、  
奈良交通バス「洞川温泉」行に乗車（約90分）し、  
終点下車後、登山道を徒歩約4時間







巫女さんは、もう1枚、別の写真を見せてくれました。

それは、吉野山と熊野三山を結ぶ「大峯奥駈道（おおみね おくがけみち）」の写真でした。

「モモちゃん、見て。ここに『女人結界（にょにんけっかい）』と書かれているの」

「ニョニンケツカイ？」

「女性は入っちゃいけない、ってこと」

だけどもモモは、もし目の前に門があったら、入ってしまいたい気持ちになります。

—どうして、犬は門をくぐりたくなるのか？

そこに門があるからなのです。





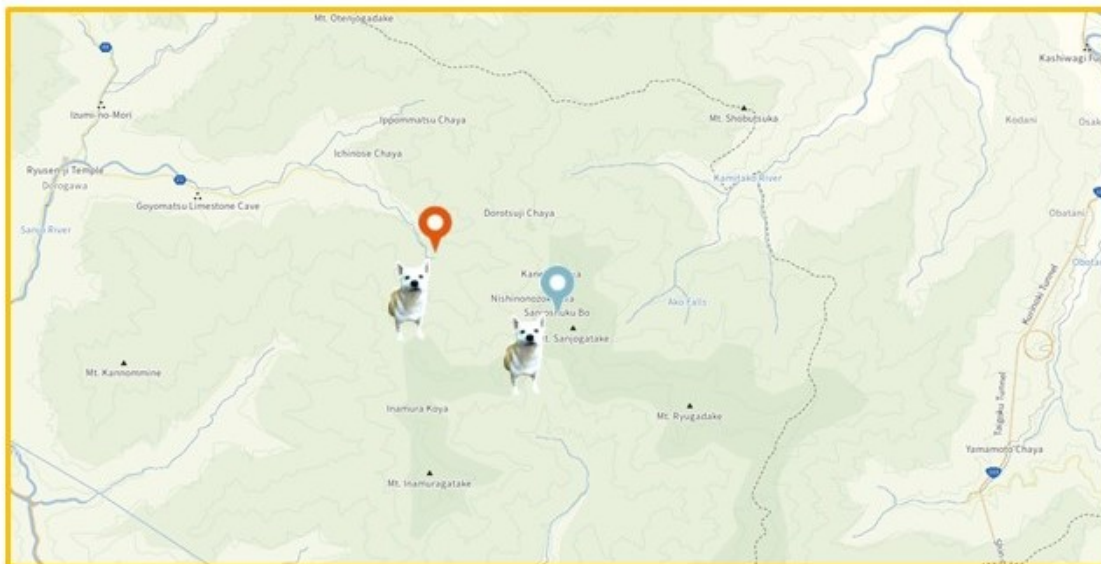
## 女人結界門／大峯山（紀伊山地の霊場と参詣道）

【Address】〒638-0431 奈良県吉野郡天川村洞川703

【TEL】天川村総合案内所：0747-63-0999 / 8:15～17:00

【Access】近鉄「下市口」駅から、

奈良交通バス「洞川温泉」行に乗車（約90分）し、  
終点下車後、登山道を徒歩約4時間





吉野山を背に女性でも歩くことのできる大峯奥駈道を辿って、モモは、熊野山の「熊野本宮大社（くまのほんぐうたいしゃ）」にやってきました。

この熊野本宮大社は、これからモモが向かおうと考えている「熊野速玉（はやたま）大社」、  
「熊野那智（なち）大社」の3つと合わせて、「熊野三山」と呼ばれているそうです。

それは、「熊野にある大切な、3つの聖なる場所」という意味なのだとか。

山道を歩きながら、モモは自分にとって大切な3つのものを考えました。

1. ごはん
2. おひるね
3. おさんぽ

—それと、もちろん、世界遺産！

「……あれ、これだと、4つになっちゃう」



**MOMO is HERE**



## 熊野本宮大社 (紀伊山地の霊場と参詣道)

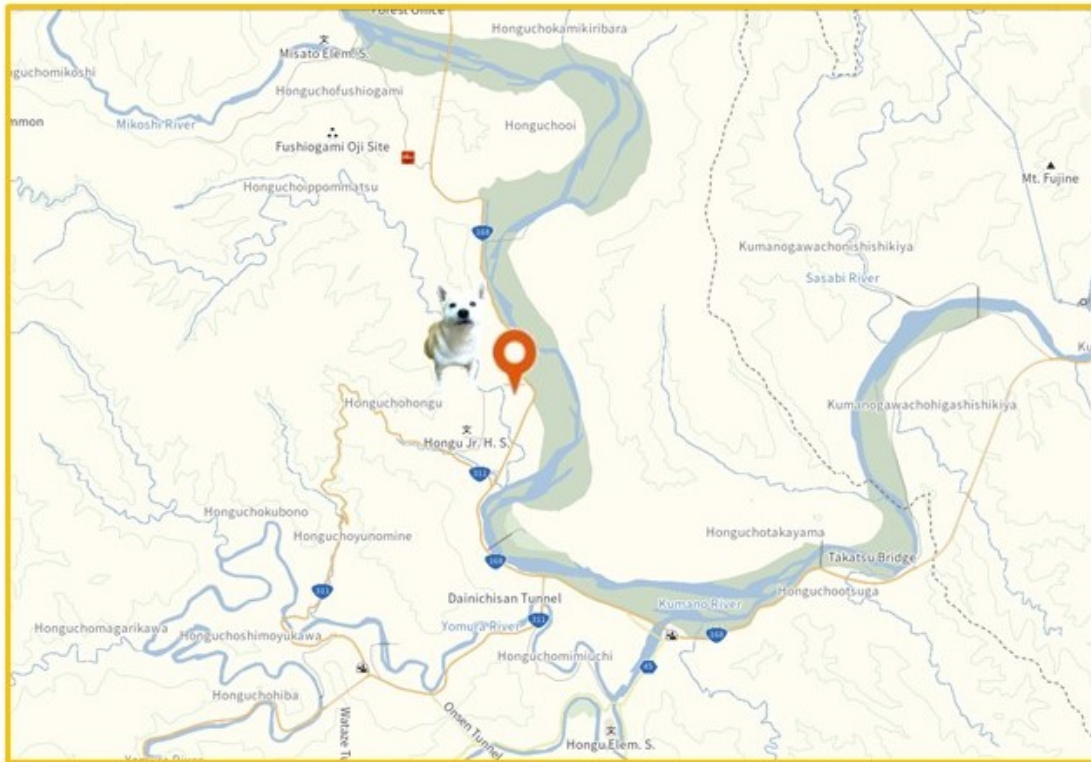
【Address】 〒647-1731 和歌山県田辺市本宮町本宮1100

【TEL】 0735-42-0009 / 6:00~17:00

【FAX】 0735-42-0753

【Access】 南紀白浜空港より車で約1時間20分

【拝観料】 無料







今日は、熊野三山のふたつめ、「熊野速玉（はやたま）大社」にやってきました。

ここで会った地元のガイドさんが、熊野の興味深い歴史を教えてくださいました。

なんでも、戦国時代の終わりから江戸時代にかけて、熊野比丘尼（くまのびくに）という仏教信者の女性たちが、熊野信仰を広めるために、日本諸国を巡ったそうです。

モモ自身も日本中を旅してきたので、何か世界遺産のためにできたら良いなと思いました。

50年後、100年後の未来の人たちは、世界遺産を旅したモモのことを、どのように語るのでしょうか。

「ワクワクしてきちゃった！」





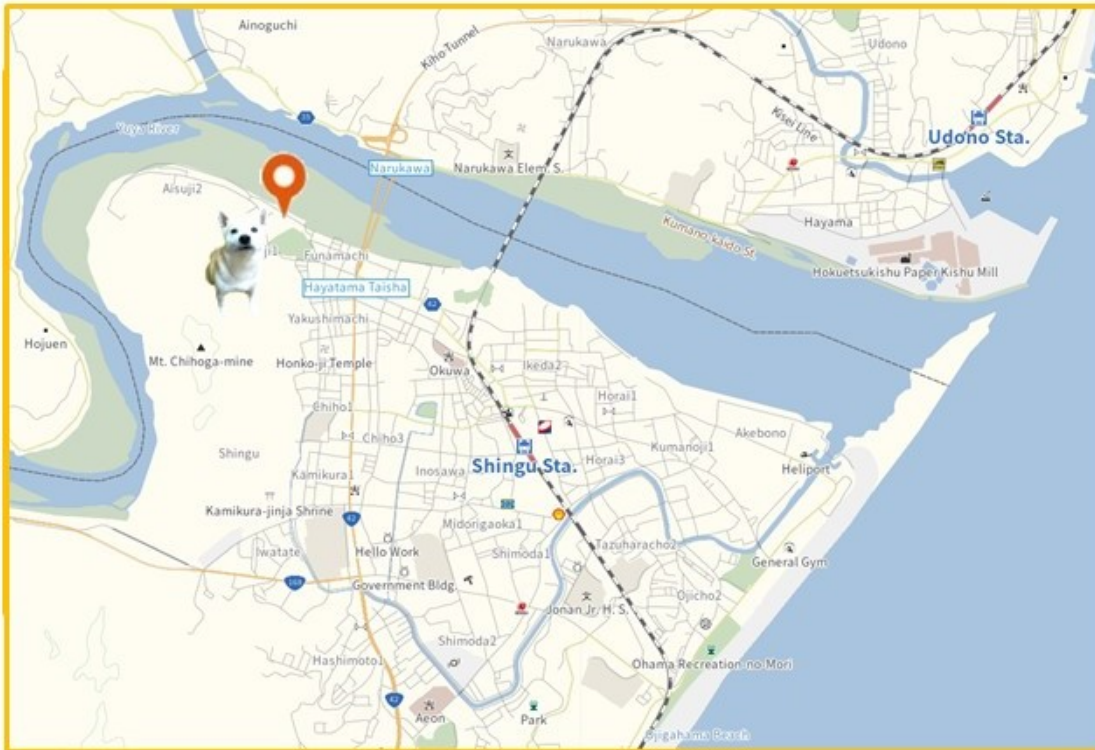
## **熊野速玉大社**（紀伊山地の霊場と参詣道）

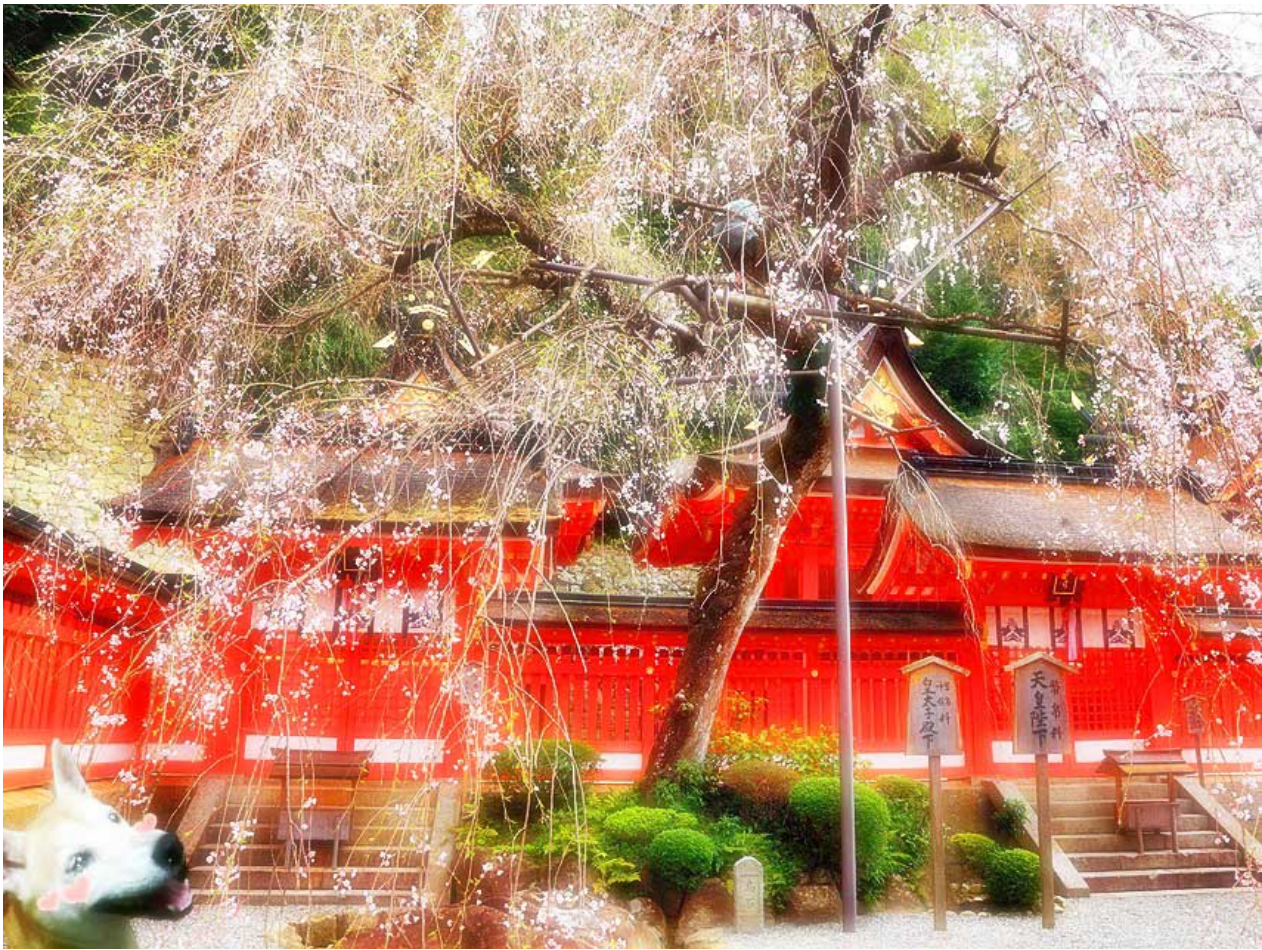
【Address】〒647-0081 和歌山県新宮市新宮1

【TEL】 0735-22-2533 / 8:00~17:00

【Access】 JR線「新宮」駅より徒歩約17分

【拝観料】 無料





今日は、「熊野三山」の3つめ、「熊野那智（なち）大社」にやってきました。

ちょうど桜の花が見頃で、境内の「しだれ桜」がモモを迎えてくれました。

朱色の建物と樹々の緑のコントラストが鮮やかです。

「春が来た～♪ 春が来た～♪ 奈良に来た～？」

モモは、思わず満面の笑みを浮かべていました。





MOMO'S HERE



## 熊野那智大社（紀伊山地の霊場と参詣道）

【Address】〒649-5301 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山1

【TEL】 0735-55-0321 / 8:30~16:30

【FAX】 0735-55-0643

【Access】 JR紀勢本線「紀伊勝浦」駅より、  
熊野交通バス乗車（約30分）、「那智山バス停」下車

【拝観料】 無料







今日は、「熊野那智大社」のすぐ近くの「青岸渡寺（せいがんとうじ）」にやってきました。

那智山にはたくさんの滝がありますが、お寺正面の向かって右側に落ちる滝は、もっとも高さがあり、「一の滝」と呼ばれているそうです。

以前は、土砂災害や森林伐採、水の汚染などで、涸れてしまう恐れもありましたが、地元の人たちの保全活動や多くの人たちの協力活動のおかげで、今も美しい水の瀑布（ばくふ）を見ることができます。

世界遺産が美しいのは、それを守っている人たちが美しいから——、とモモは感じました。

---



MOMO is  
HERE



## 青岸渡寺（紀伊山地の霊場と参詣道）

【Address】〒649-5301

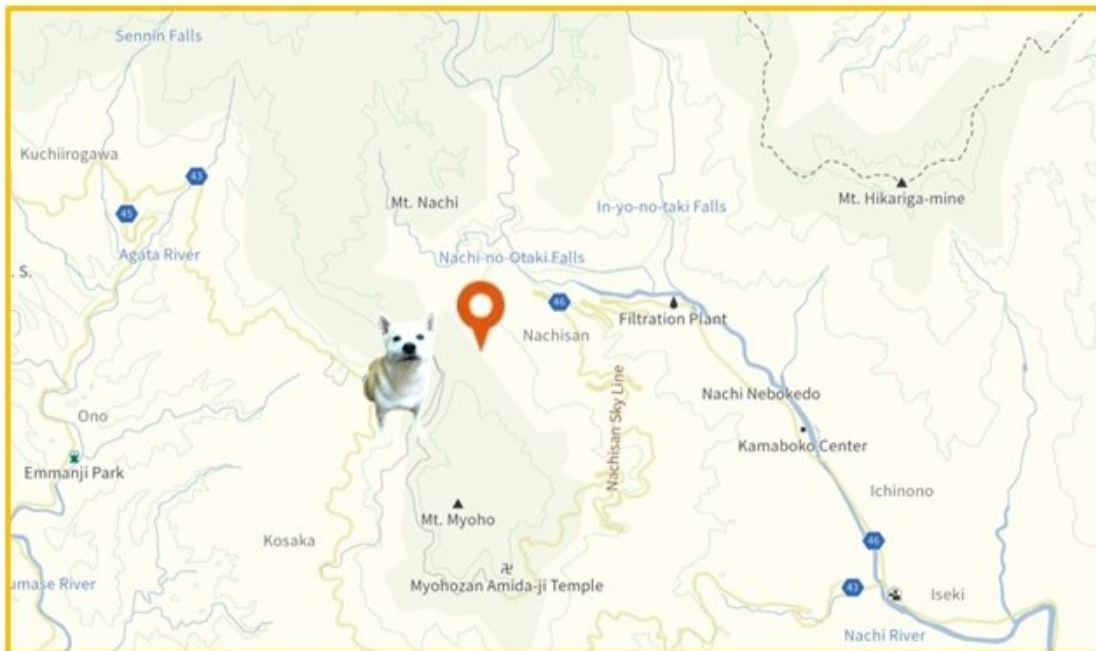
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山8

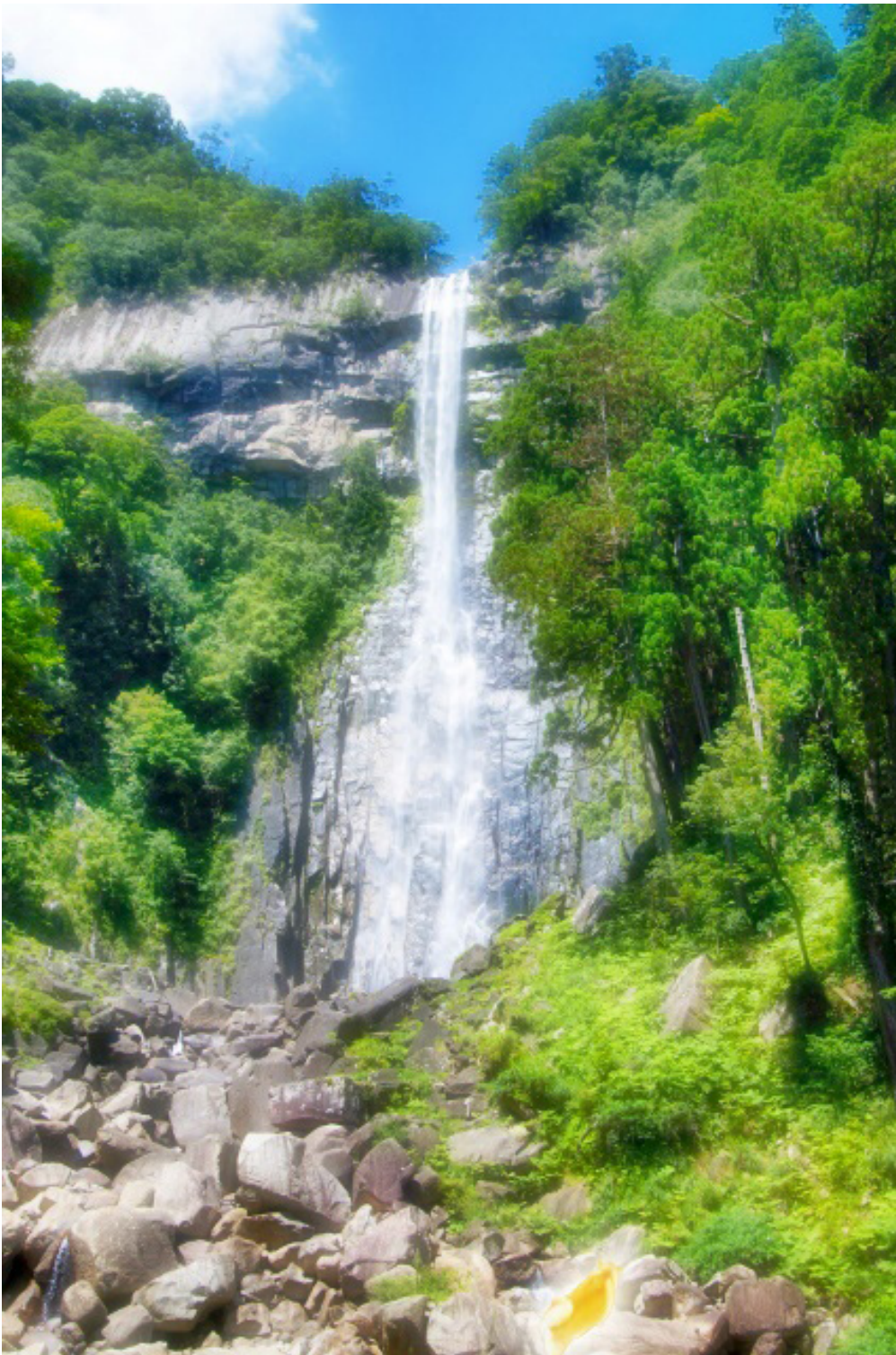
【TEL】0735-55-0001 (代表) / 5:00~16:30

【FAX】0735-55-0757

【Access】JR西日本・紀勢本線「紀伊勝浦」駅から、  
熊野交通バス「那智山」行き約27分

【拝観料】無料





青岸渡寺を堪能（たんのう）したモモは、那智大滝（なちおおたき）に近づいてみました。  
高さ 133 メートルから勢い良く落ちる滝、その水しぶきが飛んできます。  
晴天で暖かな陽射しの中、心地よいシャワーがモモに降り注ぎました。  
一気持ち良いワン！

---





## **那智大滝**（紀伊山地の霊場と参詣道）

【Address】〒649-5301

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山1

【TEL】熊野那智大社：0735-55-0321 / 8:00~15:30

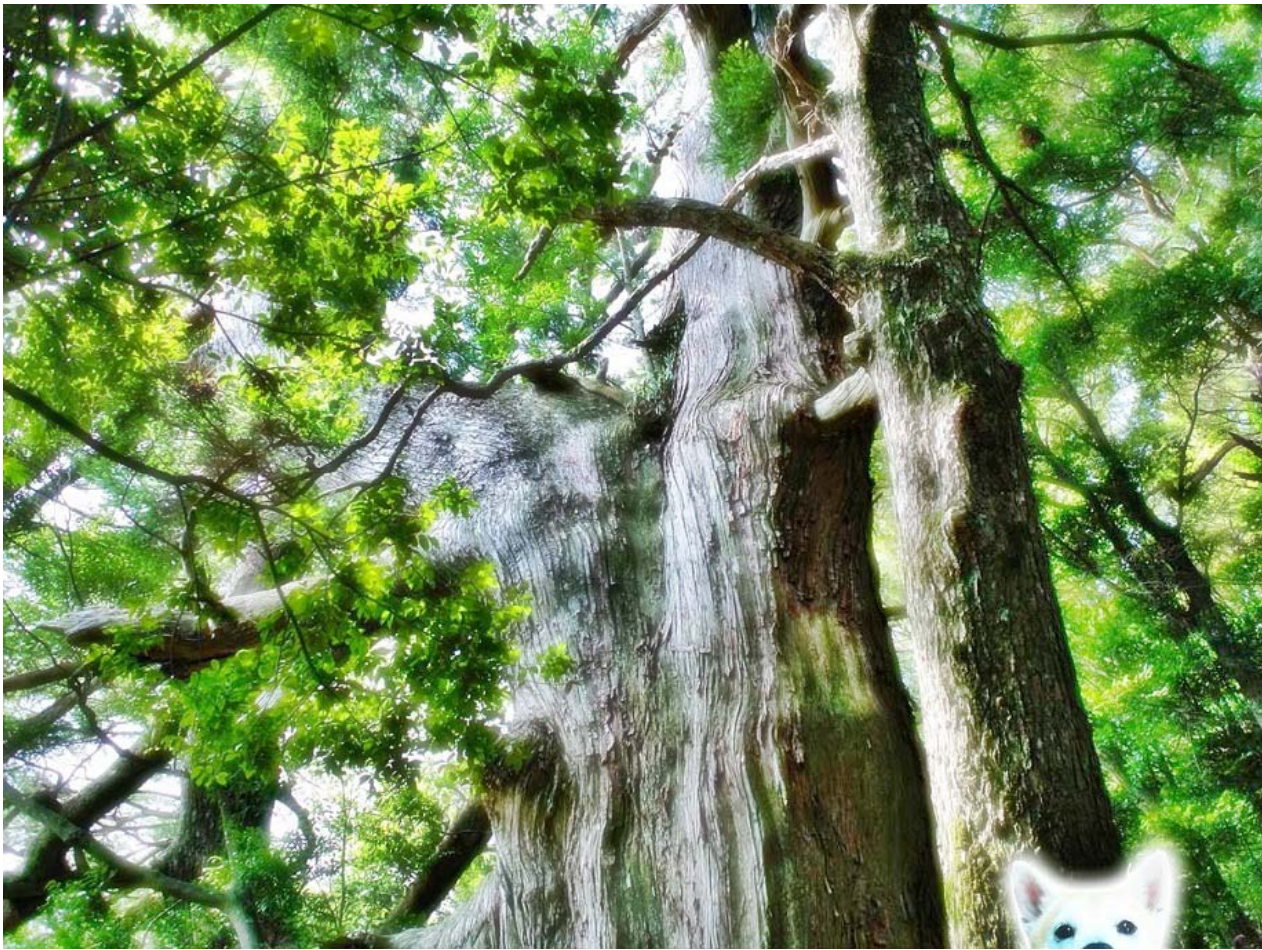
【FAX】熊野那智大社：0735-55-0643

【Access】JR西日本・紀勢本線（きのくに線）「紀伊勝浦」駅から、  
熊野交通バス「那智山」行き約27分、「滝前」下車

【拝観料】無料 / お滝拝所：300円







那智大滝の水しぶきに癒やされたモモは、熊野山を散策することにしました。

那智原生林の豊かな山林の中、トレッキングを楽しむ登山者のグループと出会いました。

「モモちゃん、コーヒーでもいかが？」

モモは、実は苦いのが、ちょっと苦手。

コーヒーの代わりに、ホットミルクをもらいました。

そして、「ホルトの樹」という大木の陰で、皆さんと一緒に、ひと息ついたのです。

※ホルトの樹は、ポルトガルの樹という意味です。

(ポルトガル原産ではないのですが)







## 那智原生林（紀伊山地の霊場と参詣道）

【Address】〒649-5301

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山1

【TEL】熊野那智大社：0735-55-0321 / 8:00~15:30

【FAX】熊野那智大社：0735-55-0643

【Access】JR西日本・紀勢本線（きのくに線）「紀伊勝浦」駅から、  
熊野交通バス「那智山」行き約27分、「滝前」下車





今日は、補陀洛山寺（ふだらくさんじ）にやってきました。

昔の人は、観音菩薩様が南の海に住まわれていると信じて、そこを目指して船で旅立ったそうです。

補陀洛山寺には、その「渡海船」が祀られています。

緑豊かな山々に囲まれた紀伊山地の中で、海を目指した人々の想いに、モモは感動しました。





## 補陀洛山寺（紀伊山地の霊場と参詣道）

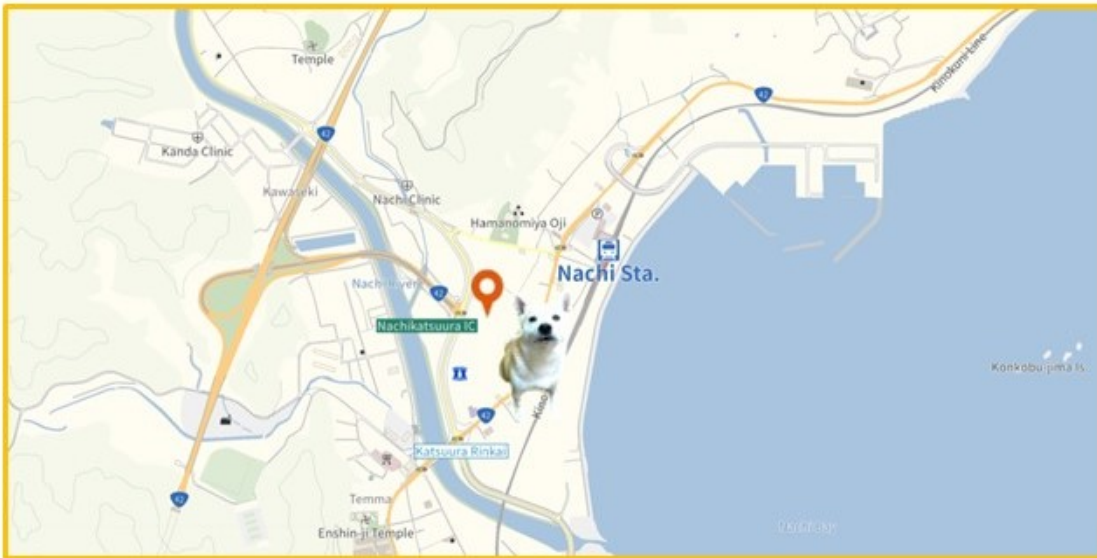
【Address】〒649-5314

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字浜ノ宮348

【TEL】 0735-52-2523 / 8:00~16:30

【Access】 JR西日本・紀勢本線（きのくに線）「那智」駅から、徒歩約250m

【拝観料】 無料







熊野三山を下って海岸に出たモモは、「鬼ヶ城（おにがじょう）」にやってきました。

海外線に見つけた奇妙なカタチの岩は「獅子岩（ししいわ）」と呼ばれていて、近くの「大馬神社（おおまじんじゃ）」の狛犬（こまいぬ）として、熊野をお守りしているそうです。

—カッコイイ！

モモが獅子岩と一緒に記念写真を撮ろうとしたところ、

—あ！

強い海風が吹きつけて、モモは思わず、よろめいてしまいました。



**MOMO is**

**HERE**





## 熊野の鬼ヶ城 附 獅子岩 (紀伊山地の霊場と参詣道)

【Address】〒519-4323 三重県熊野市井戸町馬留596

【TEL】熊野市観光スポーツ交流課：0597-89-4111 / 8:30～17:15

【Access】JR西日本・紀勢本線（きのくに線）「熊野市」駅下車、  
三重交通バスで約3分、あるいは、徒歩約10分

【拝観料】無料





獅子岩を過ぎて海岸に沿って歩いていると、だんだん道が狭くなってきました。

手すりがあるとはいえ、断崖絶壁の続く道。

モモは、ガクガクと足が震えてきました。

すると、海からカモメさんが飛んできて、声をかけてくれました。

「ここは犬も戻る『犬戻り』よ。モモちゃん、大丈夫？」

モモは、「助けてー！」と、叫びました。





**MOMO is  
HERE →**

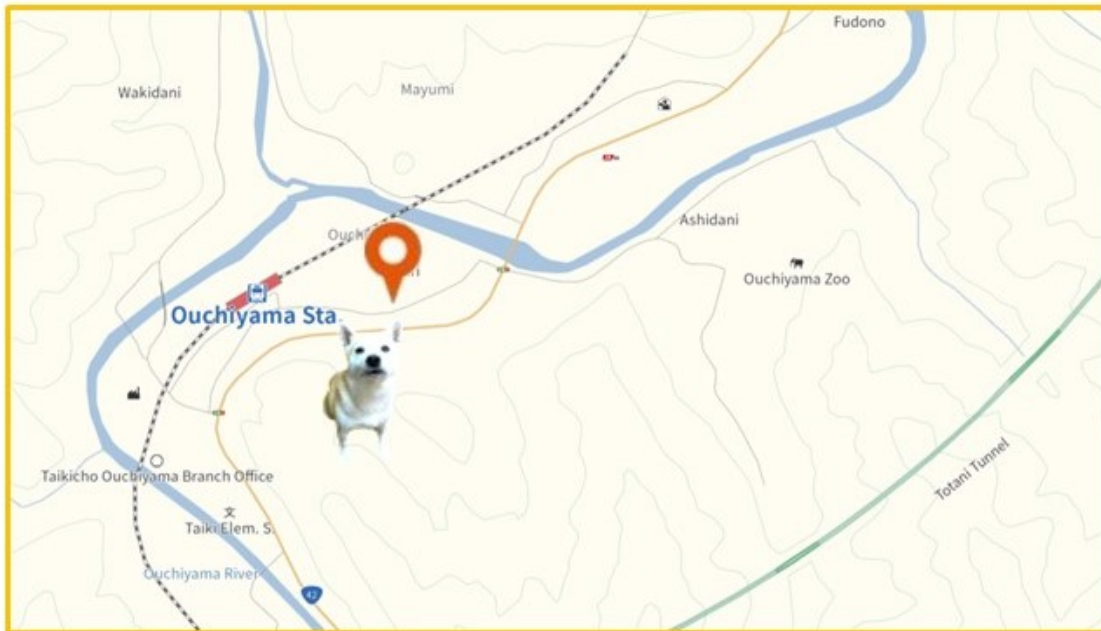


## 犬戻峡（紀伊山地の霊場と参詣道）

【Address】〒519-3111 三重県度会郡大紀町大内山米ヶ谷

【TEL】大紀町役場：0598-86-2211 / 8:30~17:15

【Access】JR東海・紀勢本線「梅ヶ谷駅」から、車で約20分（約3,321m）







七里御浜（しちりみはま）の犬戻りで道を引き返したモモは、北に向かっていました。カモメさんのお話では、このまま北に向かうと、伊勢神宮まで辿り着けるそうです。でも、リアス式海岸の険しい道が続くと想像すると、モモは、ちょっと臆病になってしまいました。

そんなモモを、カモメさんは、やさしく励ましてくれます。

「モモちゃん、今夜は大きな花火大会があるから、楽しんで！」

---



**MOMO is  
HERE**



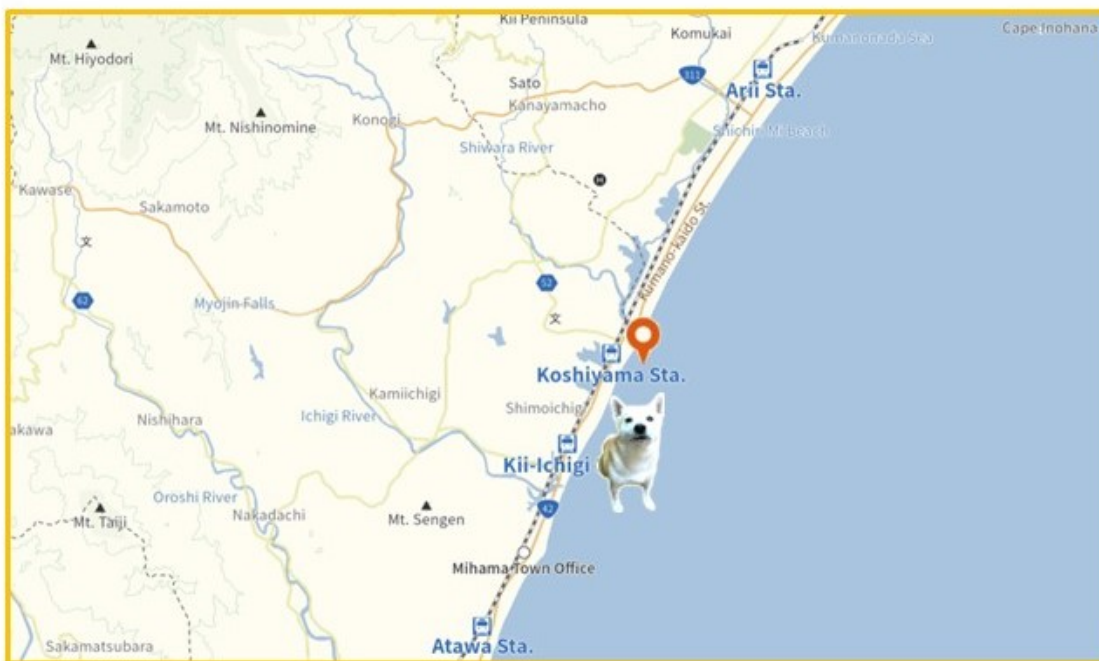


## 七里御浜（紀伊山地の霊場と参詣道）

【Address】〒519-4321 三重県熊野市（御浜町、紀宝町、鵜殿村）

【TEL】熊野市観光協会：0597-89-0100 / 9:00～17:00

【Access】JR西日本・紀勢本線（きのくに線）「熊野市」駅下車、徒歩5分





熊野三山を後にしたモモは、今度は、高野山（こうやさん）に向かうことにしました。

和歌山県から奈良県に入るルートを選んで、JR和歌山線の「橋本」駅で、南海高野線に乗り換えるのです。

「橋本」駅から高野山に登る電車は、「天空」という別名があるそうです。

車窓から眺める絶景に感動したモモは、まさに空を駆け抜けるような電車だと思いました。



MOMO is HERE

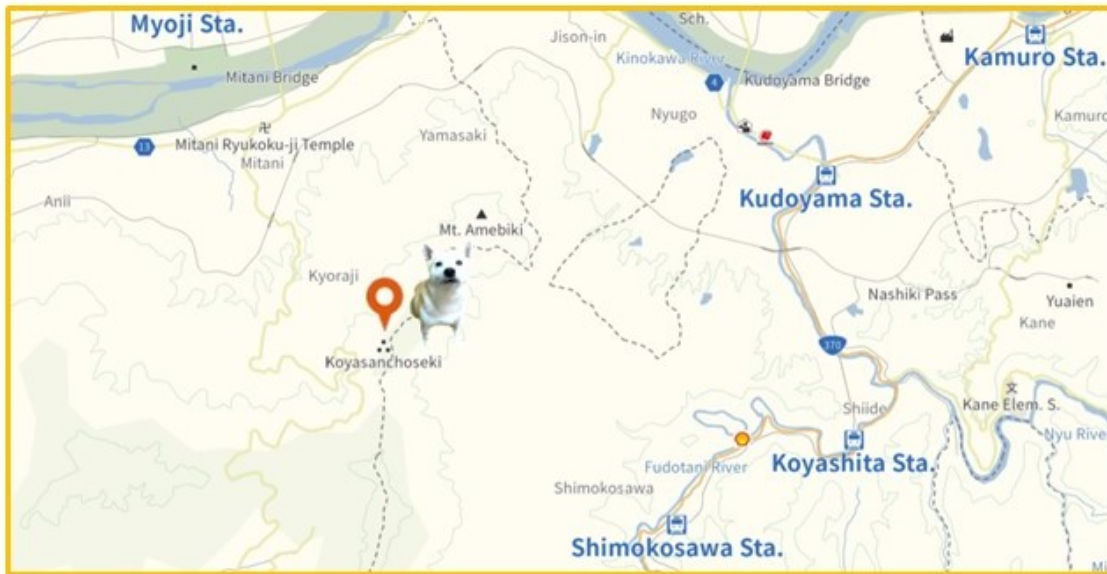


## 高野山町石道（紀伊山地の霊場と参詣道）

【Address】和歌山県伊都郡（九度山町・かつらぎ町・高野町）

【TEL】九度山町役場：0736-54-2019 / 8:30～17:15

【Access】南海高野線「九度山」駅より、徒歩約25分







今日は、高野山の慈尊院（じそんいん）にやってきました。

高野山は「女人禁制」の場所が多いのですが、この慈尊院は、高野山を信仰する女性のための、「女人結縁」のお寺として、知られています。

お寺の本殿でモモが肉球を合わせていると、どこからともなく、モモの名前を呼ぶ柔らかな声が聞こえてきました。

「モモちゃん、モモちゃん」

振り向くと、赤い帽子をかぶったお地蔵さんがたくさん。

「モモちゃん、こちらの絵馬にあなたの願い事を書くと、叶いますよ」

教えてもらった絵馬（おっばい絵馬）をよく見ると、モモは、思わず、ほっぺが赤くなってしまいました。



MOMO is HERE





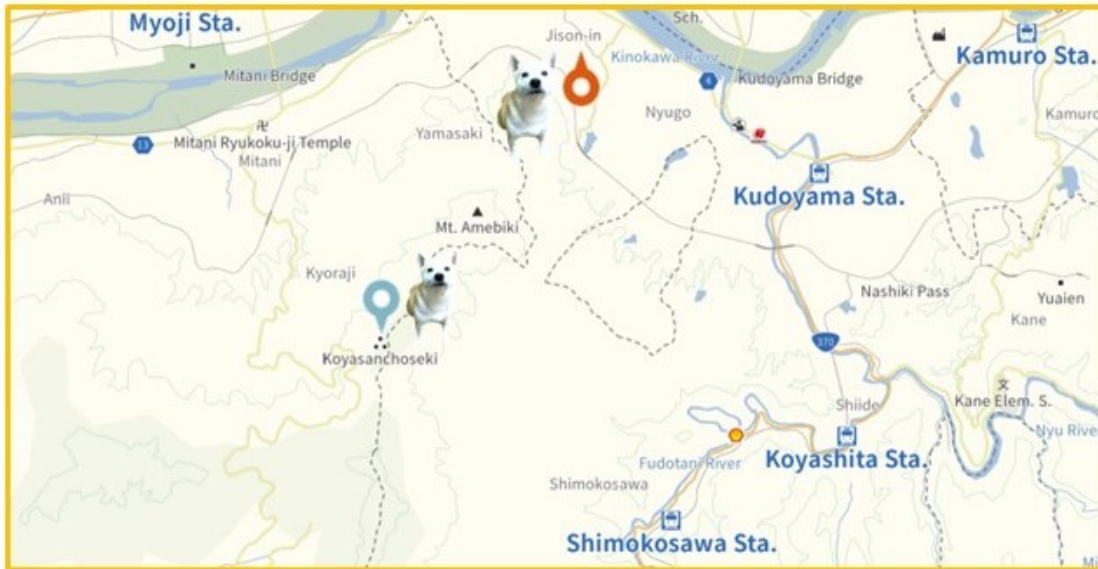
## 慈尊院（紀伊山地の霊場と参詣道）

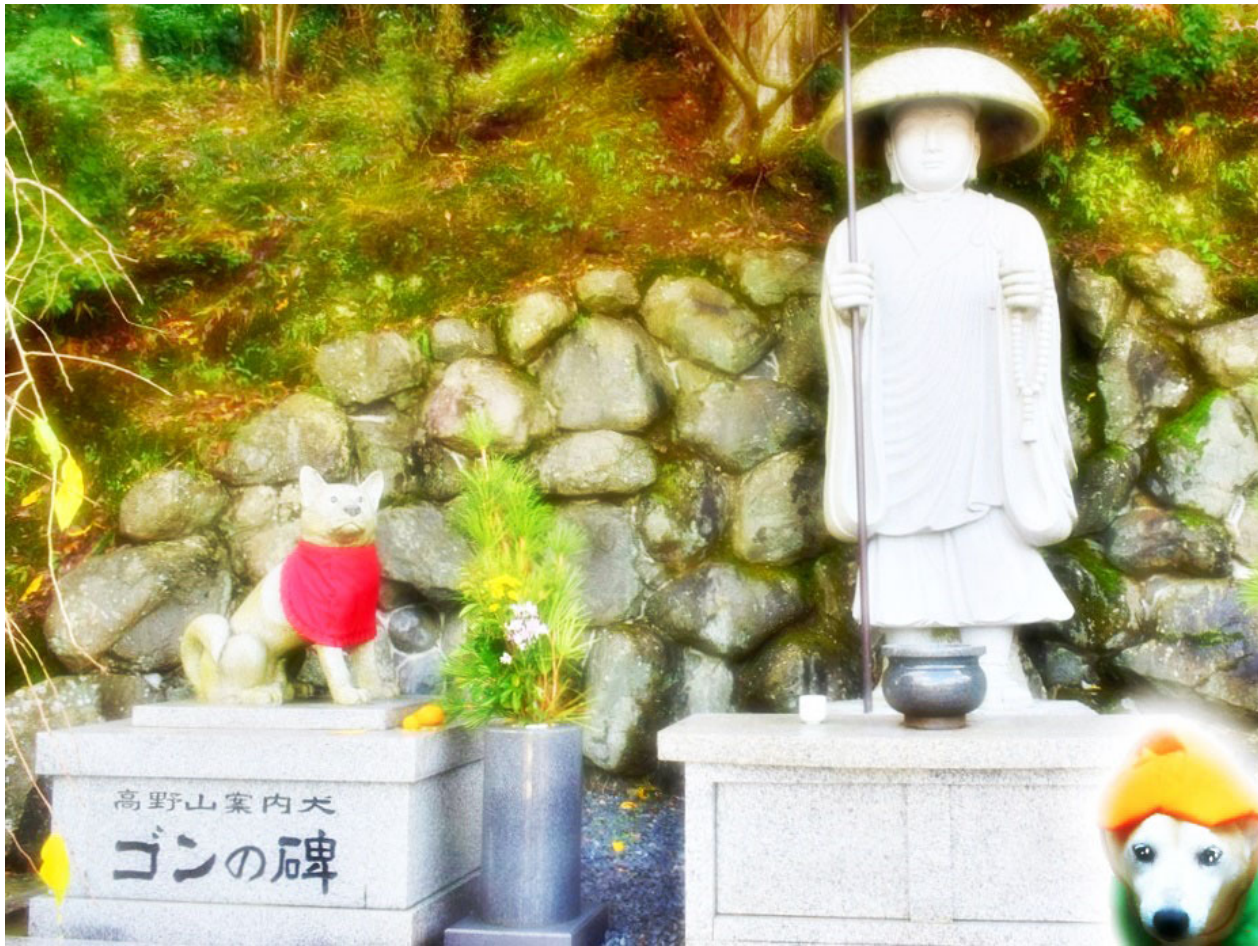
【Address】〒648-0151 和歌山県伊都郡九度山町慈尊院832

【TEL & FAX】0736-54-2214 / 8:00~17:00

【Access】南海高野線「九度山」駅より、徒歩約20分

【拝観料】無料





おっぱい絵馬にドキドキの止まらないモモでしたが、山道を歩いていると、色々な参拝者の人たちから声をかけられて、だいぶ気持ちが落ち着いてきました。

けれど、なぜか、モモは「ゴンちゃん、ゴンちゃん」と呼びかけられます。

—私の名前はモモなのに、どうして？

「モモちゃん、ごめん。ゴンって、僕のコトなんだ！」

声のしたほうに視線を向けると、弘法大師像の横に座っている犬の男の子が、モモを笑顔で迎えてくれていました。

ゴン君は、高野山の案内犬として、有名なのだそうです。

—ゴン君、かっこいい！





## 高野山案内犬 ゴンの碑 / 慈尊院 (紀伊山地の霊場と参詣道)

【Address】〒648-0151 和歌山県伊都郡九度山町慈尊院832

【TEL & FAX】0736-54-2214 / 8:00~17:00

【Access】南海高野線「九度山」駅より、徒歩約20分

【拝観料】無料







今日は、丹生官省符（にうかんしょうぶ）神社にやってきました。

境内には2メートルもの大きな絵馬が飾られていて、参拝客の注目を集めていました。

その絵馬には、弘法大師を高野山に導いたとされる、伝説の白と黒の2匹の犬が、描かれています。

2018年は、戌年（いぬどし）。

ゴンちゃんに続いて犬の伝説に出会ったモモも、高野山に導かれたのかもかもしれません。





## 丹生官省符神社（紀伊山地の霊場と参詣道）

【Address】〒648-0151 和歌山県伊都郡九度山町慈尊院835

【TEL & FAX】 0736-54-2754 / 8:30~16:30

【Access】 南海高野線「九度山」駅より、徒歩約25分

【拝観料】 無料





今日のモモは、金剛峯寺（こんごうぶじ）にやってきました。

ついにここが、「紀伊山地の霊場と参詣道」の最後の構成資産となります。

高く聳える朱色の根本大塔が、青空に、とても映えています。

モモは、高野山にいる間ずっと、犬の神様に見守られているように感じられて、ご先祖様に会いに来たような、そんな思い出深い場所になりました。

一次は、どこに行こうかな？

モモ旅は、まだまだ続きます。





## 金剛峯寺（紀伊山地の霊場と参詣道）

【Address】〒648-0294 和歌山県伊都郡高野町高野山132

【TEL】 0736-56-2011 / 8:30~16:30

【Access】 南海電鉄「極楽橋」駅より、ケーブルカー「高野山」駅、  
南海りんかんバスに乗車し「金剛峯寺前」下車

【拝観料】 一般：500円、小学生200円、他



（モモの次なる冒険に続く）

本書は The BBB: Breakthrough Bandwagon Books のためにつくられたオリジナル作品です。



## The BBB でのモモ著作リスト



### モモの世界遺産旅行記～日本編～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-in-japan.html>



### モモの世界遺産旅行記～世界編 Vol. 001-025～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe01.html>

---

## The BBB でのモモ著作リスト



モモの世界遺産旅行記～世界編 Vol. 026-050～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe02.html>



モモの世界遺産旅行記～世界編 Vol. 051-075～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe03.html>

---



## The BBB でのモモ著作リスト



モモの世界遺産旅行記～世界編 Vol. 076-101～

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momo-meets-the-world-heritage-sites-globe04.html>



モモ旅 Vol. 1

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momos-journey-in-japan-vol1.html>

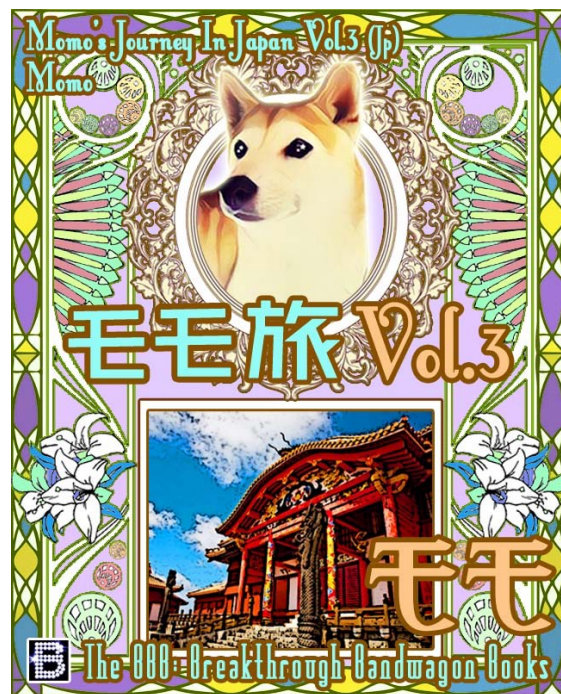
---

## The BBB でのモモ著作リスト



モモ旅 Vol.2

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momos-journey-in-japan-vol2.html>



モモ旅 Vol.3

<http://thebbb.net/jp/ebooks/momos-journey-in-japan-vol3.html>

---